

憲法九条を世界に輝かせよう ねやがわ九条のつどい

とき：11月5日（日）
(午後1時50分開会)

ところ: 寝屋川市民会館大ホール

(参加協力券) 500円

小森陽一さんがお話しします

(東京大学大学院総合文化研究科教授)
(九条の会事務局長)

現在寝屋川市内で
九条の会が14の会
で結成されています。



主催:ねやがわ9条の会連絡会

き下げる」と求めました。

介護保険では、「昨年十月から介護保険制度の改悪により、高齢者の大幅負担増となつてゐる。府下では、二十三市町村(七十五%)が介護保険料の独自減免制度を実施してゐる。①本市でも独自減免を実施すること。②特養ホームの待機者解消のために施設整備を行うこと」を強く求めました。

一般会計、国保・介護特別会計

中谷議員 決算委員会で反対討論

「市民生活の困難さが一層深刻になってきてゐるもとで、市民基本健康診査・介護用品支給事業の有料化、あかつき・ひばり園の職員削減、幼稚園保育料の値上げなど、市民負担増等を推進。市民の切実な願いにこたえる姿

十月十八日、決算審査特別委員会が閉会しました。

国保・介護 市の独創性

勢に欠けている」と、市の姿勢を批判しました。

国保・介護保険 市の独自軽減策を

「軽減保険策を実現する」と主張しました。

回を求めました。

さらに、「人口減少時代だからこそ、人口増加を前提とした、寝屋川市駅東・香里園駅東地区の再開発事業は見直し、乳幼児医療費助成制度の拡充、高齢者などの福祉施策の充実こそ市民から求められている」と主張しました。

介護保険では、「昨年十月から介護保険制度の改悪により、高齢者の大幅負担増となつてゐる。府下では、十三市町村（七十五%）が介護保険料の独自減免制度を実施してゐる。①本市でも独自減免を実施すること。②特養ホームの待機者解消のために施設整備を行うこと」を強く求めました。

度以降ゼロとなつており「あまりにも実態離れしている」と文科相も認めています▼いじめはどこでも起これる問題です。だからこそ、いじめにあつている子どもが、「助けて」と言える人が必要です。子どもの力では解決に限界があります。保護者や教職員など、身近なおとの責任と共同が問われています。行政の責任と役割が大きいことはもちろんです。

ようか▼日本共産党的石井いく子議員は、衆院文部科学委員会で、文科省の「いじめ」報告件数が実態からかけ離れている点を指摘し、その背景にいじめなどの減少をめざす「数値目標」が押しつけられている問題を事例をあげてただしまして▼文科省の全国調査では、いじめによる自殺の件数が1999年度以降ゼロとなっており「あまりにも実態離れしている」と文科相も認めています▼いじめはどこでも起こりえる問題です。だからこそ、いじめにあつている子どもが、「助けて」と言える人が必要です。子どもの力では解決に限界があります。保護者や教職員など、身近なおとなの責任と共同が問われています。行政の責任と役割が大きいことはもちろんです。

子育て・高齢者福祉の充実を 大型公共事業見直しせよ

議會版

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email : jcpncc@cc-net.or.jp

No. 1969
田中 ひさ子
国松町 10-36
833-1714

寺本 とも子
豊里町 38-1-105
電話 829-9424

中林 かずえ
宝町 4-33
☎839-2289

高宮 九人
高宮2-19-5
☎823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
☎821-7427

高い保険料が掛かり、
に滞納した 13、84
2世帯（全加入世帯の
27.5%）の所得を
みると、5、822世
帯（42%）が所得ゼ

10割の医療費支払を
求められる資格証明書
の発行数は、1992
年で加入者にしめる割
合は、府下で第1位(東

一方、加入者ひとり当たりの一般会計から繰入額は、府下平均が36,420円なのに

対し、寝屋川市は28,138円と、府下32市中26位と低い額になっています。

入れ額を増やし、高い
国保料を引き下げるベ
きです。せめて府下平
均額なみの繰り入れは
緊急課題です。

額、平等割額の引き上げで、加入者すべての世帯で値上げがおこなわれました。

府下平均なみへ 一般会計から繰入を

医療分で、限度額を5
2万円から53万円

(37.6%) が所得
150万円以下で、所
下が滞納世帯の8割を
占めています。

中林議員 高い国保料引き下げ求める

05年度決算

中林議員 高い国保料 引き下げ求め

る

藏員日誌

寺本
とも子

援会旅行で「但馬の小京都」といわれる出石に出かけました。

援会員さん手作りのクイズ（豪華景品つき）で大変盛りあがりました。

図書館運営は業務委託でなく

市直営で「知る権利」を守れ

公立図書館の發展を願う会・寝屋川の資料より

「としょかんのちかい」(岡山市宇野小学校)

- ◆みんながよみたい本をよめるようにじゅんびをします
 - ◆みんながしらべたいことを本やしりょうでおうえんします
 - ◆だれがどんな本をよんでいるか、ひみつをまもります

業務委託の見直しを求めて質問しました。

○五年度予算は、九五四万二三五八円、決算は、九二〇万一九六〇円となっています。

中谷議員は、住民団体の「寝屋川市の情報公開をすすめる会」や「図書館の発展を願う会」の資料を紹介し、業務委託契約をした「図書館活用をすすめる会」の運営と活動の問題点を質しました。

業務委託にあたつて、市はプロポーザル方式でサービス向上と宣伝していました。しかし、実際の応募は、NPO法人登録申請中の「図書館活用をすすめる会」だけでした。

「市民との協働の推進と業務の効率化」を理由に選定しました。

○六年度は、随意契約で、「図書館業務について」は、経験と知識の蓄積が必要であり、十七年度の経験を生かしながら、更なる市民サービスの向上を図る」としています。専門性を言うなら、経験も知識も不十分な団体に委託したことが問わると、指摘しました。

また、新社会人向け講座について、高すぎる講師料とともに図書館行政からみて問題があると指摘しました。

「図書館の発展を願う会」は、東図書館の規模なら、市職員一人とアルバイト二人で、

託費より約四百万円減の予算で、市直営が可能と試算しています。

図書館活用をすすめる会（市と東図書館の運営業務委託を契約）の新社会人向け講座

- 北大阪支援マスターズの講師料見積り価格は、244,000円

*参考：市立図書館が毎年5種の行事をおこなっている。講師料を年間総額でみると、最近5年間は、136,000円～188,000円となっている。